

審議会会議録

1	会議の名称	令和6年度第2回富津市子ども・子育て会議
2	開催日時	令和6年8月30日（金） 午後1時30分～午後2時51分
3	開催場所	富津市役所5階 502・503会議室
4	審議等事項	議題 (1)第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画評価の報告について (2)「(仮称)富津市こども計画」に係る子どもの生活状況調査・若者の意見聴取調査結果報告について (3)「(仮称)富津市こども計画」の策定方針について (4)「(仮称)富津市こども計画」の骨子案について
5	出席者名	○出席委員 齋藤みゆき、渡瀬栄一、高林めぐみ、木村望、今井常夫、オノミチ三由紀、棟方淳子、宗政朱利、宮崎晴幸、川島壱朗 ○事務局 小野田健康福祉部長、吉原こども家庭課長、網代こども家庭課長補佐、飛澤家庭相談係長、鳥海主任主事、高橋主事、田内保育課長、渡辺保育係長、國吉施設管理係長、圓川健康づくり課主査
6	公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	
8	傍聴人数	1人（定員5人）
9	所管課	健康福祉部こども家庭課子育て支援係 電話 0439-80-1256
10	会議録（発言の内容）	別紙のとおり

令和6年度第2回富津市子ども・子育て会議 会議録

発言者	発言内容
<p>事務局 (高橋主事)</p>	<p>皆様、こんにちは。</p> <p>本日は、ご多用のところお集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>会議の進行を務めさせていただきます、健康福祉部こども家庭課の高橋と申します。よろしくお願いたします。</p> <p>開会に先立ちまして、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>本日机上には、会議次第、委員名簿、席次表、資料3-2「事前に出された意見と市の考え方」をお配りしております。</p> <p>また、事前に、資料1「富津市子ども・子育て支援事業計画（第Ⅱ期）に係る計画期間の評価について」、資料2「富津市子どもの生活状況調査・若者の意見聴取調査報告書（案）」、資料3「「（仮称）富津市こども計画」の策定方針」、資料4「「（仮称）富津市こども計画」の骨子案について」をお送りしております。</p> <p>以上が本日の会議資料でございますが、お揃いでしょうか。</p> <p>続きまして、本日の委員の出席状況を報告させていただきます。15名の委員のうち、委員名簿1番の牧野委員、3番の榎本委員、4番の上原委員、5番の鈴木委員、7番の宮原委員におかれましては、本日欠席のご連絡をいただいております。また、委員名簿9番の木村委員からは、遅れる旨のご連絡をいただいております。</p> <p>従いまして、10名の方が出席され、過半数を超えておりますので、富津市子ども・子育て会議設置条例第6条第2項の規定により、会議が成立しておりますことを、ご報告いたします。</p> <p>続きまして、会議の公開についてご説明いたします。富津市情報公開条例第23条の規定により、会議を公開することとなっております。</p> <p>なお、本日傍聴人は1名でございます。</p>

発言者	発言内容
<p>議長 (宮崎会長)</p> <p>事務局 (高橋主事)</p> <p>議長 (宮崎会長)</p>	<p>また、会議録作成のため、会議の内容を録音させていただきますので、ご了承くださいようお願いいたします。</p> <p>続きまして、ご発言の際の注意事項を申し上げます。ご発言の際は、恐れ入りますが挙手の上、議長からの指名後、係員がマイクをお持ちしますので、ご発言いただきますようお願いいたします。</p> <p>また、第1回の会議に引き続き、オブザーバーとして、計画策定業務を委託しております株式会社ぎょうせいの楠元様、國吉様が同席しておりますので、ご承知おきください。</p> <p><次第1 開会></p> <p>それでは、ただ今から、令和6年度第2回富津市子ども・子育て会議を開会いたします。</p> <p>はじめに、宮崎会長からご挨拶を頂戴したいと存じます。</p> <p><次第2 会長挨拶></p> <p>皆さん、こんにちは。お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。本日、本会議に付託されました議案に関しては4件でございます。皆様の忌憚のないご意見を頂戴いたしまして、速やかな議事進行にご協力をお願いしまして、挨拶に代えさせていただきます。よろしく申し上げます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ここからは、宮崎会長に議事の進行をお願いいたします。</p> <p><次第3 会議録署名人の指名></p> <p>それでは、議長を務めさせていただきます。</p>

発言者	発言内容
<p>事務局 (網代こども家庭課 長補佐)</p>	<p>議事に入る前に、本日の会議録署名人の指名ですが、議長のほか、慣例により委員からお一人お願いしておりますので、今回は川島委員にお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。</p> <p><次第4 議題(1)></p> <p>それでは、次第4の議題に入ります。</p> <p>議題(1)「第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画評価の報告について」を議題といたします。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p> <p>それでは、議題1「第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画に係る計画期間の評価(実施)報告」をさせていただきます。</p> <p>先日の第1回会議におきまして、令和5年度単年度の実施状況についてご報告をさせていただいております。その後、令和2年度からの計画期間全体を通しての実施状況、その効果を事業担当課に照会し、取りまとめましたので、本日もご報告させていただきます。</p> <p>こども計画に掲載する事業について検討するために、第Ⅱ期計画の振り返りを踏まえることが重要であると考え、今年度末までの5年間の計画期間は終了してはおりませんが、4年間の実績によって、評価をいたしております。</p> <p>資料1をご覧ください。</p> <p>計画書にならい、事業を成長段階ごと、また成長段階ごとの施策で分けて、記載をしております。</p> <p>表の構成は、左から、その事業を記載している計画書のページ、通番、担当課、事業名、事業内容、各年度の実績、今後の課題と方向性、①実施状況、②施策の効果、③今後の方</p>

発言者	発言内容
	<p>向を記載しております。</p> <p>①から③は、それぞれの事業の取組状況によりまして、担当課が自己評価を行っております。それぞれの区分は、1ページの冒頭の左側の記載のとおりでございます。</p> <p>また、1ページの冒頭の右側には、計画に掲載されている全76事業の①実施状況、②施策の効果、③今後の方向の各評価区分の合計数を表でまとめて記載しております。この後、成長段階ごとに説明をいたしますが、全体としてこのような評価をしているとご理解いただければと思います。</p> <p>①実施状況では、「A 計画通り、おおむね順調」なものが67事業、「B 着手しているが順調とまでいえない」ものが7事業、「E 実施していない」ものが2事業でございました。</p> <p>②施策の効果では、「A 大きな効果あり」としたものが31事業、「B 中程度の効果あり」としたものが43事業、「D 未実施/効果なし」としたものが、2事業でございました。</p> <p>③今後の方向では、「A 拡大/強化」を考えているものが13事業、「B 現状を継続する」ものは60事業、「C 縮小」するものは1事業、「D 廃止」するものは2事業でございました。</p> <p>それでは、成長段階ごとにご説明をいたします。</p> <p>まず、1ページの「1 妊娠期・出産期」では、相談や講座等の7つの事業に取り組んでおります。「1-5 マタニティ講座」については、「E 実施していない」となっており、今後の方向性といたしましても「D 廃止」となっておりますが、「1-3 妊娠期支援事業」にある「プレママ学級」にて、同様の事業を実施しており、今後も継続的に実施していきます。</p>

発言者	発言内容
	<p>新規事業である「1-6 子育て世代包括支援センター」及び「1-7 産後ケア事業」については、どちらも、年々利用者数が増加している状況であり、十分な効果があったと評価していることから、引き続き事業を継続してまいります。その他の第Ⅰ期計画から引き続き実施している事業についても、計画通りに実施し、効果を上げたとして評価しております。</p> <p>次に、「2 幼児期・乳児期」でございますが、「子どもの健康支援」及び「保育サービスの充実」の施策に取り組み、13事業全てにおいて、計画通りに実施し、効果を上げたとして評価しております。「2-4 離乳食教室」については、第Ⅱ期計画当初は、5か月児を対象としておりましたが、今年度より、対象を5か月児、7か月児、10か月児と拡大し、実施していることから、今後の方向性を「A 拡大/強化」としてまいります。</p> <p>新規事業である「2-9 ブックスタート事業」につきましては、4か月児健診の際の機会に、読み聞かせ体験と絵本のプレゼントを行う活動でございます。今後、セカンドブック事業として、新たに対象児童を定めて、令和5年4月1日より開館した富津市立図書館とも連携し、4か月以降の子どもにも本と触れ合う機会のきっかけを提供することを検討していることから、今後の方向性を「A 拡大/強化」としてまいります。その他の事業につきましては、現状を継続して取り組むとしてまいります。</p> <p>成長段階「3 学齢期・思春期・活動期」では、施策「学校教育の推進と地域社会との連携」のため、16の事業に取り組みました。全ての事業が計画通りに実施され、そのうち15事業が効果を上げたとして評価しており、今後の方向については、「B 現状を維持」12事業、「A 拡大/強化」していく事業は4事業となっております。「3-6 富津市スポーツ少年</p>

発言者	発言内容
	<p>団事業」につきましては、年々団体数、団員数が減少していることから、「B 着手しているが、順調とまでいえない」としておりますので、引き続き県内外の交流試合等を実施し、スポーツ活動の推進と青少年の健全な育成を図ってまいります。</p> <p>新規事業につきましては、居場所の提供、学習支援、相談支援として、「3-12 放課後ルーム事業」、「3-13 子どもの学習支援事業」、「3-14 学習サポート会」を実施しており、全てにおいて計画通りに実施できております。</p> <p>また、今後の方向については、現状維持としておりますが、事業周知やボランティアを募り、事業を拡大できるように事業を継続してまいります。</p> <p>また、子どもたちが自分の健康、身を守るための知識を得てもらうための事業といたしまして、「3-15 防災教育の推進」及び「3-16 児童・生徒歯科指導」を新規事業として実施しております。どちらの事業とも、年々参加者が増えていることから、引き続き実施してまいります。</p> <p>次に、「4 育児期全般」では、「地域における子育て支援」、「児童虐待防止対策」、「特別な支援が必要な子どもへの支援」、「経済的負担の軽減」並びに「ひとり親家庭の支援」の施策を中心に37の事業に取り組んでおります。</p> <p>実施状況では、「A 計画通り」、おおむね順調なものが31事業、「B 着手しているが順調とまでいえないもの」が5事業、「E 実施していないもの」が1事業でございました。</p> <p>施策の効果では、「A 大きな効果あり」としたものが9事業、「B 中程度の効果あり」は27事業、「D 未実施/効果なし」と評価したものは、1事業でございました。</p> <p>今後の方向は、「A 拡大/強化」を考えているものは7事</p>

発言者	発言内容
<p>議長 (宮崎会長)</p>	<p>業、「B 現状を継続」は28事業、「C 縮小」は1事業、「D 廃止」は1事業でございました。</p> <p>新規事業として取り組んだ、「4-10 読み聞かせボランティア講座」については、公民館を会場に実施しておりましたが、富津市立図書館が開館したことから、図書館と連携し、「A 拡大/強化」をしております。</p> <p>全体的には、計画通りの実施状況で、効果を上げていることから、「(仮称)富津市こども計画」においても、継続していく考えでございます。</p> <p>長くなりましたが、以上で報告とさせていただきます。</p> <p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>ご意見、ご質疑等がございましたらお願いいたします。</p> <p><次第4 議題(2)></p> <p>ないようでしたら続いて議題(2)「(仮称)富津市こども計画」に係る子どもの生活状況調査・若者の意見聴取調査結果報告について」を議題といたします。</p>
<p>事務局 (網代こども家庭課長補佐)</p>	<p>それでは、議題2「(仮称)富津市こども計画」に係る子どもの生活状況調査・若者の意見聴取調査結果報告について」ご説明させていただきます。</p> <p>資料2をご覧ください。</p> <p>前回会議にてご説明いたしました、子ども・若者を中心とした計画を策定するために、子ども・若者の生活実態及び子ども・若者の意見を聴取することを目的とした、「子どもの生活状況調査」及び「若者の意見聴取調査」を、本年6月21日から7月16日まで実施いたしました。その調査結果報告書が、取りまとまりましたので、概要をご説明させていただきます。</p>

発言者	発言内容
	<p>ます。</p> <p>1 枚おめくりいただきまして、目次でございますが、1 ページから 4 ページが「共通編」、5 ページから 84 ページまでが「子どもの生活状況調査編」、85 ページから 150 ページまでが「若者の意見聴取調査編」、151 ページから「資料編」となっております。</p> <p>ページ数が大変多くなっており、時間の都合もございますので、要点と思われる項目に絞ってご説明してまいりますので、ご了承くださいませようお願いいたします。</p> <p>3 ページをご覧ください。</p> <p>「1 調査の目的」でございますが、2025 年度から 2029 年度までの「(仮称) 富津市子ども計画」の作成にあたり、子ども・若者を取り巻く現状や意識等を把握し、意見の聴取をするために、実施したものでございます。</p> <p>「2 調査票の種類と調査対象者等」でございますが、「子どもの生活状況調査」につきましては、調査対象者が、市内在住及び市立小中学校に在学する小学 5 年生、中学 2 年生、市内に在住する高校 2 年生でございます。調査件数は、小学 5 年生 270 件、中学 2 年生 287 件、高校 2 年生 297 件の合計 854 件でございました。「若者の意見聴取調査」につきましては、15 歳から 29 歳で富津市在住・在学・在勤している者でございます。調査方法と調査内容につきましては、記載のとおりでございます。</p> <p>4 ページをご覧ください。</p> <p>「3 調査時期と配付・回答状況」の(1) 調査時期につきましては、本年 6 月 21 日から 7 月 16 日まででございます。</p> <p>(2) 調査の回答状況につきましては、「子どもの生活状況調査」が、案内通知の配布数 854 件、回答数 507 件、回答率 59.4%、「若者の意見聴取調査」は、回答数が 89 件となって</p>

発言者	発言内容
	<p>おります。</p> <p>「4 報告書利用上の留意点」につきましては、「調査結果の表示方法」を記載してございます。</p> <p>それでは、調査の結果について説明をさせていただきます。はじめに「子どもの生活状況調査」の回答についてご説明し、その後「若者の意見聴取調査」の回答についてご説明をいたします。</p> <p>7ページから10ページまでの第2章では、回答者の属性、家族状況についての設問がまとめられております。</p> <p>10ページの間4をご覧ください。「同居家族」についての設問でございますが、回答内容等から約1割がひとり親世帯であることが推測できます。</p> <p>続いて、11ページから27ページまでの第3章では、学校生活、学校外の生活についての設問がまとめられております。</p> <p>18ページの間9をご覧ください。</p> <p>進学希望についての設問でございますが、約6割の回答者が高校を卒業後も進学することを希望しております。また、3.4%の回答者が中学校までとなっております。</p> <p>続いて、25ページの間13をご覧ください。</p> <p>回答者が安心して過ごせる居場所を聞く設問でございますが、約2割の回答者が自宅以外と回答してございます。また、2.8%の回答者が「ほっとできる居場所はない」と回答しております。この2つの設問につきましては、回答者がどういった理由でそのような考えに至ったか、どういったフォローが必要であるか検討する必要があると考えなければならないところでございます。</p> <p>続いて、28ページから40ページまでの第4章では、家庭生活についての設問がまとめられております。</p> <p>36ページの間20をご覧ください。</p>

発言者	発言内容
	<p>ここでは、平日に夕食を子どもたちだけで食べることがどのくらいの頻度であるかを聞いておりますが、約2割の回答者が週に3日以上あると回答をしております。</p> <p>37 ページの間 21 をご覧ください。</p> <p>ここでは、自分が使用できるものを問う設問で、10 項目のもの等について、「ある」、「持っていないがほしい必要なもの」、「特に必要が無いので持っていないもの」と3つで回答してもらう設問でございます。38 ページの(6)、39 ページの(7)につきましては、服、靴と衣類について質問をしておりますが、どちらとも約1割の回答者が「ない」と回答しております。生活必需品である衣類がないということから、この問いだけで判断することはできませんけれども、貧困の状況であるかもしれないということが推測されます。</p> <p>続いて、41 ページから 61 ページまでの第5章では、回答者の気持ちについての設問がまとめられております。</p> <p>41 ページをご覧ください。</p> <p>問 22 では、回答者の悩みの有無について聞いている設問でございますが、「勉強・成績のこと」、「将来のこと」が他に比べて回答が多くなっております。</p> <p>43 ページをご覧ください。</p> <p>問 23 では、悩みごとを相談できると思う人を聞いている設問でございますが、「相談できない、したくない」と回答した割合が約 8.3%となっております。</p> <p>45 ページをご覧ください。</p> <p>問 23-1 では、相談できないと回答した回答者がどういった理由で相談できないと思っているかを聞いております。相談できない理由といたしまして、理由の全体から推測をいたしますと、1人で考えた結果、相談できないと思う回答者が多いのかなという推測ができます。</p>

発言者	発言内容
	<p>48 ページから 54 ページまでは、回答者がどういった場所を求めているかを聞いております。特に「放課後または休日にいることができる場所」、「静かに勉強ができる場所」を求める回答が多くございました。</p> <p>続いて、62 ページから 71 ページまでの第 6 章では、家庭での役割についての設問がまとめられております。</p> <p>62 ページの問 27 をご覧ください。</p> <p>17%の回答者が家族の中にお世話をしている人がいると回答しております。</p> <p>69 ページの問 27-8 をご覧ください。</p> <p>こちらは、お世話をしている人がいると回答した人のうち、お世話をしていることで出来ないことを聞いています。学校生活や勉強に影響がでている回答者が約 3%、睡眠時間が取れない回答者が約 2%、友達と遊ぶことができないが 8%、自由な時間が取れないが約 14%となっております。</p> <p>71 ページの問 27-9 をご覧ください。</p> <p>こちらは、お世話をしている回答者が何をしてほしいかを聞いております。話を聞いてほしいという声が 1 番多いことから、聞く体制を強化する必要があると思われれます。</p> <p>続いて、72 ページから 74 ページまでの第 6 章では、富津市についての設問がまとめられております。</p> <p>72 ページをご覧ください。</p> <p>問 28 では、富津市に住み続けたいかを聞いております。「外に出ても、将来富津市に戻りたい」の割合が最も高く 30.8%、次いで「住み続けたい」24.7%、「わからない」23.7%となっております。</p> <p>73 ページをご覧ください。</p> <p>問 29 では、富津市にあったらいいと思うサービス、力をいれてほしいサービスを聞いております。遊べる場所、自由に</p>

発言者	発言内容
	<p>過ごせる場所を求める声がやはり多くなっております。</p> <p>次に、75 ページをご覧ください。</p> <p>こちらは、自由意見を掲載しております。掲載にあたりましては、意図を踏まえ、調査票記述内容に対し、一部編集を行っております。</p> <p>また、特定の個人や団体を指しているご意見については、特定できる箇所のみ編集をしております。ですが、ほぼ原文通り、本ページから 84 ページに掛けまして、ご意見内容により、13 分類して掲載をしております。分類分けをいたしますと、先ほどの問 29 にもありますように、遊び場や施設の充実を求める自由意見を最も多くいただいております。詳細な内容につきましては、資料をご確認いただければと思います。</p> <p>続きまして、「若者の意見聴取調査」の結果について、ご説明をいたします。87 ページから 93 ページまでの第 9 章では、回答者の属性、家族状況についての設問がまとめられております。</p> <p>93 ページの問 9 をご覧ください。</p> <p>暮らし向きの実感を聞いている設問でございますが、約 4 割の方が「中の下」以下の回答となっております。この実感を上げていくように、富津市の課題点を見つけ、施策を検討する必要があると考えております。</p> <p>94 ページから 110 ページまでの第 10 章では、生活環境についての設問がまとめられております。</p> <p>94 ページをご覧ください。</p> <p>問 10 では、一番ほっとできる場所だと思うところについて聞いております。特に回答数の多いものの特徴といたしましては、自分の意志で行動できることであることが見受けられます。</p> <p>111 ページから 121 ページまでの第 11 章では、結婚・子育て</p>

発言者	発言内容
	<p>てについての設問がまとめられております。</p> <p>111 ページの問 19 をご覧ください。</p> <p>回答者の約 2 割が「結婚している」と回答しております。</p> <p>また、「結婚できる年齢で、結婚していない」と回答している回答者が約 65%おります。</p> <p>続いて、114 ページの問 19-2 をご覧ください。</p> <p>「結婚していない」と回答した回答者の結婚願望について、聞いております。結婚したいと考えている回答者が約 45%となっております。</p> <p>続いて、118 ページ問 21 をご覧ください。</p> <p>現在、育児をしている子どもの数を含めた子どもの希望人数を聞いております。「2人」の割合が最も高く 38.2%となっている一方で、約 15%の回答者が「子どもは欲しくない」と回答をしております。</p> <p>続いて 119 ページの問 22 をご覧ください。</p> <p>子育てのイメージについて聞いております。「お金や手間がかかり負担が大きい」と思っている回答がもっとも多くなっております。</p> <p>続いて、120 ページの問 23 をご覧ください。</p> <p>回答者が思う少子化の原因ですが、ここでも最も多い回答がお金に関することとなっております。</p> <p>続いて、121 ページの問 24 をご覧ください。</p> <p>子育て費用で負担に感じる事、将来的に負担になると思っていることとなっておりますが、子どもの教育にかかる費用が負担になるであろうとする回答が半数を超えております。3つの問いから、小学校から大学までにかかる費用について、負担になるであろうと考えている方が多く、それらに対しての経済的支援等が求められていることがわかります。</p> <p>122 ページから 144 ページまでの第 12 章では、回答者の気</p>

発言者	発言内容
	<p>持ちについての設問がまとめられています。</p> <p>122 ページの問 25 をご覧ください。</p> <p>今の生活に満足しているかを聞いており、約 75%の方が「満足している」、約 25%の方が「満足していない」と回答をしております。</p> <p>続いて、129 ページの問 28 をご覧ください。</p> <p>現在の悩みについて、聞いております。先ほどの子育てのイメージでもあるように、お金のことが最も多く回答されており、将来のことについても、ほぼ同じ回答率となっております。</p> <p>続いて、141 ページ問 35 をご覧ください。</p> <p>ここでは、富津市に対して、子ども・若者に関する制度や政策の意見等を伝えたいかを聞いております。約 4 割の方が「伝えたい」という意見があると回答しております。</p> <p>続いて 142 ページ問 35-1 をご覧ください。</p> <p>ここでは、問 35 で「意見を伝えたくない」と回答された方がどういった理由で伝えたくないかを聞いた設問になります。「意見を伝えても反映されないと思う」と回答した回答者、「富津市が何をしているか、どんな人がいるかわからない」と答えた回答者が半数いらっしゃいました。</p> <p>145 ページから 147 ページまでの第 13 章では、富津市についての設問がまとめられております。</p> <p>問 38 では、富津市に住み続けたいかを聞いています。「住み続けたいと思わない、住みたくない。」の割合が最も高く 31.5%、次いで「わからない」29.2%、「住み続けたい、住みたい」22.5%となっております。</p> <p>次に、146 ページをご覧ください。</p> <p>問 39 では、富津市にあったらいいと思うサービス、力をいれてほしいサービスを聞いています。「子どもの生活状況調</p>

発言者	発言内容
<p>議長 (宮崎会長)</p>	<p>査」同様に遊べる場所、自由に過ごせる場所を求める声が多い一方、子どもの安全を考え、「安心して外で遊んだり、通学、通勤したりすることができるようにすること」の回答が1番多くなっております。</p> <p>次に、148 ページをご覧ください。</p> <p>こちらは、自由意見を掲載しております。「子どもの生活状況調査」同様に、掲載にあたっては、意図を踏まえ、調査票記述内容に対し、一部編集を行い、また、特定の個人や団体を指しているご意見については、特定できる箇所のみ編集しておりますが、ほぼ原文通り、本ページから 150 ページに掛けまして、ご意見の内容により、6 分類して掲載しております。</p> <p>詳細な内容につきましては、資料をご確認いただければと思います。</p> <p>本報告書の説明は以上とさせていただきます。</p> <p>なお、補足説明といたしまして、本調査の報告書につきましては、9月18日開催の「市議会全員協議会」において報告をし、9月末の公表を予定しております。また、本調査及びニーズ調査を基に、こども施策の策定をまいります。委員の皆様方には計画策定にあたり、ご意見やご要望をお伺いする機会があるかと思いますが、ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。</p> <p>簡単ではございますが、以上で説明とさせていただきます。</p> <p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>ご意見、ご質疑等がございましたらお願いいたします。</p> <p><次第4 議題(3)></p> <p>ないようでしたら、続いて、議題(3)「(仮称)富津市</p>

発言者	発言内容
<p>事務局 (網代こども家庭課 長補佐)</p>	<p>こども計画」の策定方針について」を議題といたします。</p> <p>それでは、議題（３）「「（仮称）富津市こども計画」の策定方針について」ご説明をさせていただきます。</p> <p>資料３をご覧ください。</p> <p>前回の第１回会議におきまして、「（仮称）富津市こども計画」を策定する旨お伝えをしております。今回、計画の策定方針を作成いたしましたので、ご説明をいたします。</p> <p>「１ 計画策定の背景」をご覧ください。</p> <p>（１）国の動向では、国が施行したこども施策に係る法律の内容と「市町村こども計画」についてまとめております。内容につきましては、資料をご確認いただければと思います。</p> <p>（２）本市の取り組みでございますが、今まで富津市がこども施策関係で策定した事業計画等をまとめてございます。</p> <p>「富津市子ども・子育て支援事業計画」のほかに、「富津市DV・虐待防止計画」といたしまして、DV対策、児童虐待等への対応や施策の指針として、総合的な計画を策定しております。</p> <p>「２ 子ども・若者、子育て当事者を取り巻く状況・課題」をご覧ください。</p> <p>ここでは、子ども、若者、子育て当事者に関する状況や課題について、大きく５つまとめてございます。</p> <p>１つ目、貧困につきましては、厚生労働省が実施した2022年国民生活基礎調査におきまして、子どもの貧困率は全国で11.5%となっていると結果が出てございます。また、子どもがいる現役世帯（世帯主が18歳以上65歳未満で子どもがいる世帯）の貧困率は10.6%となっており、そのうちひとり親家庭は44.5%と高くなっております。富津市が3月に実施したニーズ調査では、約16%の家庭で、子どものためのもの</p>

発言者	発言内容
	<p>を購入できないという結果が出てございます。</p> <p>2つ目、児童虐待につきましては、警察庁が令和5年度の犯罪情勢といたしまして、警察から児童相談所への通告件数が、過去最多の122,806人となったと報告をされております。富津市では、新規の児童虐待発生件数が2021年度48件、2022年度43件、2023年度45件となっております。</p> <p>3つ目、子ども・若者の支援につきましては、ヤングケアラーやひきこもり、いじめ、不登校、ニート、障がい等支援が必要な子ども・若者がおります。ニーズ調査や子どもの生活状況調査の結果、富津市でもヤングケアラーに該当すると思われる子どもが居ることは把握をしております。</p> <p>4つ目、出生数の減少につきましては、厚生労働省が取りまとめております2023年12月分の人口動態統計速報によりますと、2023年の出生数は全国で758,631人となっており、8年連続減少かつ過去最少となっております。富津市におきましても、2017年に出生数が196人と過去20年間で初めて200人を下回り、2022年は110人、2023年は126人と100人に迫る出生数となっております。</p> <p>5つ目、子育て当事者の環境につきましては、慣れない子育てに対して、不安を抱えている方がいる一方で、子育てが落ち着き、子育てと仕事を両立させたい方が増えております。富津市が3月に実施したニーズ調査では、約1割の家庭が、気軽に相談できる人がいないと結果が出ております。</p> <p>また、現在子育てのために、就労していない保護者の約7割の方に就労希望があり、その内の約4割の方は1年以内の就労を希望しております。</p> <p>「3 計画策定の趣旨」につきましては、第1回会議でも同様のご説明をしておりますので、省略をさせていただきます。内容は、資料をご確認いただければと思います。</p>

発言者	発言内容
	<p>裏面の「4 目指す計画の方向性」をご覧ください。</p> <p>国の「こども大綱」が目指す、全てのこども・若者が、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、ひとしくその権利の擁護が図られ、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態で生活を送ることができる社会と「富津市みらい構想」が掲げる将来像、「誰もが心も体も元気に、いきいきと安心して暮らせるまち」、「次代を担う子どもたちが健やかに育ち、子どもたちの笑顔があふれるまち」、「市の産業が活気にあふれ、多くの来訪者でにぎわうまち」を踏まえ、「（仮称）富津市こども計画」の2つの大きな方向性を定めます。</p> <p>1つ目といたしましては、全てのこども・若者が心も体も元気に暮らせるまちを目指し、こども・若者が幸福な生活を送ることができる社会をみんなで創ることを趣旨とした基本理念を検討します。</p> <p>2つ目は、みんなで共有できるよう、子どもや若者等の意見を取り入れながら、わかりやすい言葉で表現をいたします。この2つの方向性を念頭に、計画を策定してまいります。</p> <p>「5 計画の概要」をご覧ください。</p> <p>（1）計画の対象と（2）計画期間につきましては、第1回会議と同様の説明となりますので、省略をいたします。内容につきましては、資料をご確認いただければと思います。</p> <p>（3）計画の位置づけでございますが、国の「こども大綱」を勘案しながら、県が策定予定の「（仮称）千葉県こども計画」と整合を図ってまいります。また、「富津市みらい構想」をはじめ、関連する個別計画と連携、整合を図ります。各計画等との関係性につきましては、図をご確認いただければと思います。</p>

発言者	発言内容
	<p>「6 計画策定の視点」をご覧ください。</p> <p>「（仮称）富津市こども計画」の策定においては、5つの視点を持って計画を策定することとしております。</p> <p>1つ目は、「こども・若者、子育て当事者と考える」です。すべてのこどもを個人として尊重し、若者と子育て当事者とともに未来を考えます。</p> <p>2つ目は、「こどもから若者まで切れ目のない支援」です。「こども大綱」が掲げる基本的な方針等を勘案しながら、こどもや若者のライフステージに応じて切れ目なく対応できる計画を策定します。</p> <p>3つ目は、「地域全体で子ども・若者を支える機運の醸成」です。市、こども・若者、子育て当事者、学校等、地域住民及び事業者がそれぞれ役割を担い、こども・若者、子育て当事者の未来を支える施策を展開します。</p> <p>4つ目は、「若者・子育て当事者に選ばれるまちの実現」です。富津市に住み続けたい、子どもを生み・育てたい、住んでみたいと選ばれるまちの実現へ向けた施策を展開します。</p> <p>5つ目は、「現計画の点検・評価」です。「富津市子ども・子育て支援事業計画」、「富津市DV・虐待防止計画」の実績や課題を踏まえ、策定をいたします。以上、5つの視点で、計画を策定してまいります。</p> <p>「7 ニーズの把握と意見聴取」をご覧ください。</p> <p>こちらは、計画策定のために実施したニーズ調査及び子どもの生活状況調査・若者の意見聴取調査を実施した旨記載をさせていただきます。</p> <p>「8 策定体制」をご覧ください。</p> <p>計画の策定にあたりましては、この子ども・子育て会議の意見を聞くことの他に、こども家庭課、保育課のみで検討す</p>

発言者	発言内容
<p>議長 (宮崎会長)</p>	<p>るのではなく、庁内関係部局と連携し、庁内検討会議を実施します。</p> <p>「9 スケジュール」につきましては、第1回会議にて説明したものを簡易化したものになっております。内容は、ご確認いただければと思います。</p> <p>以上で、こども計画の策定方針についての説明とさせていただきます。</p> <p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>ご意見、ご質疑等がございましたらお願いいたします。</p>
<p>今井副会長</p>	<p>説明ありがとうございます。</p> <p>2点ほど、質疑をお願いしたいと思うんですけど、まず、「2 子ども・若者、子育て当事者を取り巻く状況・課題」っていうところ、1番から5番までありますけれども、1番、2番のこの番号のところですけども、1番に貧困があるのは、富津市としては、ここが1番の問題だという形で1番にしているのか、この順番について、お伺いしたいなと思います。</p> <p>2点目なんですけれども、「7 ニーズの把握と意見聴取」について、今日説明をいただきましたけれども、このニーズの把握と意見聴取に基づいて、「2 子ども・若者、子育て当事者を取り巻く状況・課題」が生まれてきたのか、それとも、この「7 ニーズの把握と意見聴取」については、今後別枠として、何らかのこの計画に反映する方向を考えているのか、この辺のところをお答えいただければなと思います。</p>
<p>事務局 (網代こども家庭課 長補佐)</p>	<p>まず、「2 子ども・若者、子育て当事者を取り巻く状況・課題」につきまして、1番から5番まで課題として挙げてございますけれども、必ずしも貧困というものが最も市として</p>

発言者	発言内容
	<p>重視しているということではないと考えてございます。いずれの課題も、重要であると捉えておりまして、便宜的に1番から5番まで掲載してございますけれども、順位があるということでは基本的にはないのご理解いただければと思っております。</p> <p>それから2点目の「7 ニーズの把握と意見聴取」の内容につきまして、別枠として計画に反映させるのかというようなご質問でございますけれども、まずは、この3月に実施をいたしました保護者の方々からいただきましたご意見、それから今回いただきました子ども、若者の皆さんからいただいたご意見、基本的には、これが計画を策定していく上での大きなベースになると考えてございます。全てを計画に反映できるかということ、予算の関係でありますとか、様々な事情もありますので、全て反映させることができないかもしれませんが、精一杯反映させられるようにしてまいりたいなと考えております。</p> <p>以上でございます。</p>
今井副会長	<p>そうすると、「2 子ども・若者、子育て当事者を取り巻く状況・課題」と「7 ニーズの把握と意見聴取」の関連性はないと捉えてよろしいですか。</p>
事務局 (網代こども家庭課 長補佐)	<p>今回の調査を踏まえて、基本的には、この「2 子ども・若者、子育て当事者を取り巻く状況・課題」に反映させているのご理解いただければと思います。</p>
議長 (宮崎会長)	<p>他にご質疑ございますでしょうか。</p>

発言者	発言内容
宗政委員	<p>ご説明ありがとうございます。</p> <p>質問なんですけれども、今の今井副会長にちょっと似たようなところになりますが、「7 ニーズの把握と意見聴取」をされたというところで、富津市が思ったより高い貧困率、そして16%の家庭で子どものためのものも購入できないというところで、子育て世帯の貧困というところと、若者自体が就職している年齢でも貧困を感じているというような実態を踏まえて策定する計画は、あくまで富津市独自の支援計画を立てていくというところでしょうか。地域の実情に応じたというところでしょうか。それとも、市民は、既存の制度とかをよくわからないまま、例えば、富津市が今現在ある生活保護制度の中の事業ですとか、福祉資金貸付制度とか、現在既に用意されている制度をこの事業計画の中に重点的に広く周知することで、富津市の事業として、これを対策するんだというような方向性なのでしょうか。</p>
事務局 (網代こども家庭課 長補佐)	<p>ありがとうございます。</p> <p>貧困に関しましてでありますけれども、当然ながら、既存の各法律に基づく生活保護制度でありますとか、様々な支援制度があろうかと思っております。各種制度につきましては、計画を策定するに当たりまして、ライフステージごとに、こういったものが使えるかというような中で、記載をしてまいりたいと思っておりますけれども、それ以外にも、市独自の施策としても、何らかのことができないかなというところで検討してまいりたいと考えております。</p> <p>以上でございます。</p>
議長 (宮崎会長)	<p><次第4 議題(4)></p> <p>他にご意見等はございますでしょうか。</p>

発言者	発言内容
<p>事務局 (網代こども家庭課 長補佐)</p>	<p>ないようでしたら、続きまして、議題（４）「「（仮称）富津市こども計画」の骨子案について」を議題といたします。</p> <p>それでは、議題（４）「「（仮称）富津市こども計画」の骨子案について」ご説明させていただきます。</p> <p>資料４をご覧ください。</p> <p>こちらは、現段階の計画骨子、計画の構成案をお示ししております。「（仮称）富津市こども計画」の骨子は、全体的にライフステージに沿って、各個別計画の施策を構成しております。</p> <p>ただし、「子ども・子育て支援事業計画」につきましては、主たる内容が、量の見込み、確保方策となっていることから、個別に構成をし、内容を把握しやすいようにしたいと考えております。計画につきましては、６つの章立てで構成し、第１章では「計画策定にあたって」といたしまして、計画策定の趣旨、計画の位置づけ、計画期間等の基礎的な事項について定めます。</p> <p>第２章では、「本市の子ども・子育てをめぐる現状と課題」といたしまして、人口、世帯等の現状及び将来人口の見通し、さらにはニーズ調査、子ども・若者のアンケート調査から見たこども、若者、子育て当事者の状況と支援の課題を記載してまいります。</p> <p>第３章の「計画の基本的な考え方」では、計画の基本理念及び計画基本視点を定め、施策の体系について、「次世代育成支援行動計画」、「子どもの貧困対策計画」、「子ども・若者計画」の施策をライフステージ分野で構成をいたします。</p> <p>第４章は、「ライフステージ分野別施策の展開」といたしまして、基本的な施策と取組事項を記載します。はじめに、</p>

発言者	発言内容
<p>議長 (宮崎会長)</p> <p>今井副会長</p>	<p>ライフステージを通じた施策、次に子どもの誕生から幼児期における施策、学童期・思春期における施策、青年期における施策、子育て当事者への施策の順に記載をいたします。</p> <p>また、基本施策と取組事項は、国の大綱や県の計画を勘案したものに加えまして、富津市の地域の実情に合わせた政策を組み込んでまいります。</p> <p>第5章は、「子ども・子育てサービスの見込み量」といたしまして、幼児期の学校教育・保育の量の見込みと確保方策、地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策等、子ども・子育て支援法に定められた事業について、記載をいたします。</p> <p>第6章では、計画の推進体制として、関係機関等との連携や今後、中間年の見直しを含め、計画通りに進捗しているかの点検・評価について記載をいたします。</p> <p>本日、お示ししました骨子案につきましては、皆様からご意見を頂戴した上で、ご承認をいただき、この骨子案を軸に、計画の素案を作成いたします。次回の会議につきましては、作成した計画の素案につきまして、グループディスカッション等を行い、ご審議いただきたいと思いますと考えております。</p> <p>なお、骨子案の表記につきましては、現段階のものであり、今後の国や県の動向等によっては表記や記載事項も変更となる可能性もございます。</p> <p>以上で、富津市子ども計画の骨子案についての説明とさせていただきます。ご審議の程お願いいたします。</p> <p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>ご意見、ご質疑等がございましたらお願いいたします。</p> <p>例えば、第5章にある子ども・子育て支援事業計画等で、</p>

発言者	発言内容
	<p>先ほどの「2 子ども・若者、子育て当事者を取り巻く状況・課題」の中の出生数の減少というのは、やはり大きな課題になってくると私は思いますし、富津市として、人口減少ですとか、少子化は、今大きな課題になっていることだと思うんですね。その中で、やはり富津市で子育てをする環境が整っていくってところが、これから少子化を防いだり、人口の流出を防いだり、あるいは他市からの人口の流入というものにも繋がってくると思うんですよ。ぜひ、その辺のところも視野に入れながら、この計画を作っていただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>議長 (宮崎会長)</p>	<p>他にご質疑等ございますか。</p>
<p>渡瀬委員</p>	<p>全体を今日聞かせていただいたんですけども、大筋の内容が結構多いものですから、もちろん最初にこういう形で評価されて、これがいい、悪いつていうのはされてると思うんですけども、せっかくこういうアンケートを取っていただけているので、具体的に、このアンケートでこういう問題点が把握されたので、それに対して、こういう施策をやっていきますっていうのがあればいいかなと。これを作られるのも、多分、結構費用かかっていると思いますので、具体的な案ですね、富津市独自のこういうアンケートをとって、その結果として、こういう形で改善していきますというのが欲しいというふうに思いましたので、一つの意見ということで、よろしく願いいたします。</p>
<p>議長 (宮崎会長)</p>	<p>他にごございますか。</p>

発言者	発言内容
宗政委員	<p>全体ですけれども2点ございます。</p> <p>1点目は、これから富津市のこども計画を立てていく上で、富津市が子育てをしやすい環境を市全体として整えていくって言うところですが、我が本校で保育士養成を行っていますので、富津市の中で行われている保育所の取り組みですとか、私は関わらせていただいて、先日も竹岡保育所様にお世話になりました、木更津市とか袖ヶ浦市、色々な保育所に行きますけれども、そこでは見られないような、凄く充実した内容の保育をされていると思います。計画書も大事ですが、ぜひ、そういうものをもっとアピールすることも、考えていかなければいけないんじゃないかなと。子育てする保護者は、こういうものを見た上で子育てする場所を選ばないので、どちらかというと、生のお母さんの声ですとか、実際の保育所の風景とか、もしくは、沢山の行政機関から視察という形で訪れて来ると言うけれども、もっとそんな感じで、広く一般に向けて、見に来てくださいとアピールしたりとか、そのアピールの方法をぜひ考えていかなければいけないんじゃないのかなと思います。どんどん研究機関とか学会とかも活用しながら、学会で1回報告されると、全国の学会員がそういう新しい取り組みとか独自の取り組みを着目して、調査してくれたりとかもしますし、また、他の学会で発表されるというようなこともありますので、色々な形で活用されたいのかなと思いました。</p> <p>あともう一つは、保育士の養成に関わることですが、今年度から県の保育士職の一般知識の試験がなくなって、専門科目だけの受験になりました。児童養護施設等の就職がメインになりますが、木更津市の方も、もう試験の内容は、どちらかというと専門的なところだけを求めて、広く保育士の</p>

発言者	発言内容
<p>議長 (宮崎会長)</p>	<p>確保の方になっております。富津市さんの方も、本校の卒業生がだいぶお世話になってはいるんですけども、今はどちらかというところ、コミュニケーション能力があつて、子どもとの関わりも上手だけれど、中々お勉強ができないというような学生も多くおりますので、もちろん公務員試験というところもありますから、全部ハードルを下げるわけにはいかないと思いますが、県の方のそういう指針もちょっと反映させていただきながら、ぜひ、専門科目をきちんと勉強したところを重点的に見ていただけたらなというふうに思います。</p> <p>他にご質疑等ございますか。</p> <p>他にないようでしたら、先ほど事務局から説明がありましたように決を採りたいと思います。</p> <p>「(仮称)富津市こども計画」の骨子案について、事務局案のとおり賛成する方の挙手を求めます。</p> <p>(委員全員が挙手)</p> <p>挙手全員です。よって、「(仮称)富津市こども計画」の骨子案は、事務局案のとおりといたします。</p> <p><次第5 その他></p> <p>続いて、次第5のその他に移らせていただきます。委員の皆様からございますか。</p>
<p>齋藤委員</p>	<p>前回の会議の話の中で、富津市の保育料のことが出たと思うんですけども、他の4市と比べてどうなのかっていうところで、高いのか安いのかっていうお話がありました。私も興味深く調べてみたんですけど、富津市の設定が他の市より</p>

発言者	発言内容
	<p>高かったっていうのが現状でした。一部の課税の部分では、木更津市の方が高い部分もあったんですけど、今回調べてみて、富津市は全体的に高めでした。また、君津市、木更津市、袖ヶ浦市は、富津市より細かく市民税所得割課税の設定がされていて、例えば、97,000円から169,000円の設定が富津市だったら、他の市は、その97,000円から169,000円の間を2、3分割されて設定されていました。ギリギリ引っかけちゃって、保育料が高くなっちゃうとかっていうなんて人には、もうちょっと細かく分割して設定してもらえたら助かるなっていうのが感じました。</p> <p>あと、以前、友人が、子育てをするなら袖ヶ浦市が子育てをしやすいということを言っていて、保育料も調べてみたら、袖ヶ浦市が一番安かったです。子育てする親から見たらやはり保育料の設定の金額っていうのは、とても大事なのかなっていうところで感じました。なるべく、保育料を安めにしていただけるようご検討をお願いします。</p> <p>あと、子どもの医療費なんですけれども、今、4市の中で富津市、木更津市、袖ヶ浦市は1回の受診で200円になります。君津市が無料ということで、周りの保護者さんからも、やっぱり無料ありがたいなっていう意見をよく聞きますので、医療費の面もご検討いただけるとありがたいです。</p>
<p>議長 (宮崎会長)</p>	<p>他にございますでしょうか。 ないようでしたら、事務局から何かございますか。</p>
<p>事務局 (網代こども家庭課 長補佐)</p>	<p>先ほどの議題(3)に関しまして、机上に配布をさせていただいております資料についてのご説明を漏らしておりました。大変申し訳ございません。お手元の方に、ご用意をいただけますでしょうか。</p>

発言者	発言内容
<p>事務局 (飛澤家庭相談係長)</p>	<p>議題（３）「（仮称）富津市こども計画」の策定について」に対しまして、委員の皆様事前にご意見をいただけるようでしたらお願いしたいという趣旨でお願いをさせていただいたところ、齋藤委員からご意見をいただいております。ご説明を漏らしておりまして、大変申し訳ございません。この場で説明をさせていただければと思います。</p> <p>いただいた意見でございますけれども、「資料よりだいたいの状況把握はできました。虐待は新規で昨年度 45 件で、この数をみて多い・少ないの感じ方は個人差があると思うのですが、私は多いなと感じました。</p> <p>貧困、虐待、ヤングケアラー等困っている子ども達がいるならば、早急に安全・安心した生活がおくれるよう関わっていかねばならないと思いました。市として具体的な課題や対応や計画がありましたら知りたいです。</p> <p>富津市の子ども達が安全、安心、幸せに暮らせるよう、少数でも困っている子どもがいるならば手を差し伸べてあげたいなと感じました。」というご質問ご意見をいただいております。</p> <p>これに対する市の考え方でございますけれども、担当の飛澤係長から説明をさせていただきたいと思えます。</p> <p>こども家庭課の飛澤と申します。</p> <p>説明させていただきます。記載のとおりなんですけれども読み上げさせていただきます。</p> <p>市の考えとしまして、本市では、先ほど、議題（３）の中で説明もさせていただいたんですが、DV児童虐待、高齢者障害者虐待の政策の指針となる「富津市DV・虐待防止計画」を策定しまして、「いかなる暴力も許さない社会の実現」という基本理念のもと、相談窓口の周知、虐待の早期発見のた</p>

発言者	発言内容
齋藤委員	<p>めの体制整備、専門職による子どもへのカウンセリング、保護者へのフォロー等に取り組んでおります。</p> <p>主な取り組みとしまして、来庁、電話等で相談を受け付ける「子育ての話何でも聞きます窓口」や市内の小中学校、保育所等を訪問して、ニーズの掘り起こしを行う「日中対応機関巡回訪問」、虐待を受けている子どもたちへの適切な支援のため、関係機関との情報交換を行う「要保護児童地域対策協議会」を実施しております。</p> <p>今回の子どもの生活状況調査にて、悩み事や困ったことを誰にも相談できない、相談したくないとのご回答が一定数あったこと等は、課題と捉えております。</p> <p>齋藤委員からも温かいお言葉をいただいております。ありがとうございます。なんでも、子どもたちの権利を守るために、関係機関の皆様とともに、積極的に子どもたちや保護者の声を聞きまして、市としても寄り添っていきたくと考えております。</p> <p>以上です。</p> <p>例えば、怒鳴ったり、叩いたり、親はしつげだからといって親は大丈夫という。でも、子どもにとったらどうなんだろうって考えると、親の立場を信じてしまっているのかなって、疑問に思うこともあるので、この昨年度の45件が、氷山の一角なんじゃないかって、本当に困ってる子がいるんじゃないかって思うと、何か状況の把握を幅広くできたらなと思いました。</p>
議長 (宮崎会長)	<p>私から1点聞いてもいいですか。これ45件発生していると思うんですけど、別々の方が45件なのか、それとも、例えば同一人物がカウントして45件になっている場合もあると思うんです。実際、これを計算すると1か月あたり約4件弱で</p>

発言者	発言内容
飛澤係長	<p>すよね。そのことを考えるとその辺の把握は事務局の方でしてますか。</p> <p>45 件の中には、1 世帯の中で複数人お子さんがいらっしゃる場合もありまして、必ずしも 45 世帯ではなくて、子どもの数で集計しております。</p>
議長 (宮崎会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>他にご意見ご質疑ございますか。</p>
宗政委員	<p>私、大学で子ども子育て支援の方のまさに虐待の方を学生に教えておりますので、今、齋藤委員からお話ありましたけれども、学生にはもう講義の中でお話してはいますが、千葉県は、実は全国で虐待件数が東京、神奈川、埼玉に続きワースト第 4 位なんですね。虐待致死にまで至るケースもとても多いです。45 件ってとても多い数だと思います。45 人ということですよ。年間百何十人しか生まれない 100 人に近い子どもしか生まれない子どもの中の、年齢はそれぞれ違いますけれども、普通にカウントしても、その中の 45 人が虐待で傷ついているというところと、あと、先ほど、齋藤委員がおっしゃいましたけれども、しつけとか、懲戒権が民法から取り消され、部分限定になりましたけれども、どこまでがしつけで、どこからが虐待かっていうところが、凄く曖昧で悩んでいる方たちも保護者もいる、まさに富津市独自の対策をというのであれば、その講座を具体的に、専門家を呼んで、定期的に色んなお母さんが、日曜日とかでもお父さんと一緒に来れるように講座を開設するとか、カナリエさんが全国で珍しく、市直営のそういう機関でありながら、日曜日も開館されているので、そういう強みを生かしてやっぱり連携をと</p>

発言者	発言内容
<p data-bbox="215 1877 379 1973">議長 (宮崎会長)</p>	<p data-bbox="513 264 1406 360">っていかないと、こういうニーズ調査をしても、通り一遍のことで終わってしまうのかなと思います。</p> <p data-bbox="513 389 1406 674">この市の考えに書かれているものって、もう現にあるものだし、国がやりなさいって言っている事業だし、それはある意味ここだけじゃなくて、どの市もやっている内容なので、ニーズ調査で捉えたこの実数をもとに、この市でこういうことをしてるっていうのが必要なのかなと。</p> <p data-bbox="513 701 1406 1787">もう一つは、虐待とまではいかないけれどもとところで、「マルトリートメント」っていう言葉もご存知ですか。概念として。マルトリートメントが何に当たるのかっていうのも、広く子育て世帯の保護者さんに周知する必要があるかなと思います。虐待というのは、子どもの心が傷つくじゃなくて、既に脳科学的に、脳に損傷を与えるというところで、そうすると、健常で生まれてきても、マルトリートメント、つまり、不適切な養育を行われることで、脳に損傷が起こって、学習障害と同じ脳の構造になってしまうというところが、もう科学的に明らかになっているというところですので、そういうエビデンスを基に、経済的な助けだけでなく、心理的なサポートをきちんと考えられると、悩むお母様が少なくなるのかなと。子どもの前で夫婦喧嘩をすることも、マルトリートメントですので、子どもはどっちも好きなのに、傷つきながら、心が傷つくというよりは、脳が傷ついていきながら、縮小するというようなことがございますので、ぜひ、ニーズ調査は生かした形で施策をしていただきたいなというふうに思います。</p> <p data-bbox="545 1877 954 1912">他にございますでしょうか。</p>

発言者	発言内容
木村委員	<p>今回のDVとかの意見を聞かせていただいて、実際に今年、園で児童相談所に関わることや私も初めての経験が何件もあり、本当に心が痛い思いをしました。でも、その時に、やはり、市と療育関係の方、健康福祉（健康づくり）課、あと木更津病院だったり、精神科面だったりとか、色んなところの連携が本当に取られていて、1人は、とても緊急性があったお子さんでした。その時にも、私達が悩んだ時に、すぐに市役所は、とても寄り添っていただいたので、そこは、感謝、凄くありがたかったなって思っています。ただ、本当に、第一報を私達も正直どこに、色んな分野によって、ここですとか、担当の方も分かれてらっしゃるんですが、そこの第一報が私達もどこに、どのタイミングで言っているのかというのわからないのが、正直、私も経験でありました。同時に、私達はまだ市役所に言いやすいです。ただ、保護者の方にとって、本当に悩んでる方が、園にも言えない、誰にも相談できない、その方達がどこにやればいいのかって、やっぱり検索しないと、中々そういう支援の場所がないってところで、もっと目に見えるポスターだったりとか、案内、あとは今の時代に合った若い子育ての方で悩んでいる方、どっちかっていうと世代が上の方よりか、若いの方がそういうのを言葉に発しづらいついていうのをちょっと感じる部分がある中で、一つ自分の提案としては、SNSやインスタ、X等、何か本当に今の時代に合ったところでの受付、やっぱりポストに入れる投函っていうことも、書くっていうことを今の方たちはできないので、ぜひ、そういうインスタやSNSとか、今の時代の若者達が、もっと声を出せない分、文だったら、本音も言いやすいと思うので、ぜひ、そういうところもやってらっしゃるようなところをちょっと調べるとあるんですが、そこをもっと押して、やっぱり園としては、本当に心が</p>

発言者	発言内容
<p>議長 (宮崎会長)</p> <p>渡瀬委員</p> <p>オノミチ委員</p>	<p>痛い思いだったんですね。あとは、グレーのお子さんたちの療育巡回を1年の間に4回で、定期的にやっていただいたりもしているんですが、こういった、また別の分野のところの部分での定期的な巡回を市役所の方と園と一緒にできていたら、より情報を密に、また、もしもの時に、知ってるか知ってないかで、最初の第一行動が変わってくると思うので、ぜひ、そういうのも今後より迅速に、子どもの命が関わっていることを私も今回とても危機的に、身近で感じたのと同時に、目の前で子どもが児童相談所に連れて行かれる姿を見て、本当に心が痛い思いを今年しました。なので、ぜひ、そういうところを、子どもを守ることを大優先に、大人がどうやって考えて行けばいいかっていうことを、ぜひ、今よりもより前向きにご検討いただけたらありがたいなと思っていました。</p> <p>ご意見です。ありがとうございます。よろしく申し上げます。以上です。</p> <p>他にございますでしょうか。</p> <p>もしポスターのような周知、告知が必要な場合、言っていたら、うちのほうであれば貼ります。以上です。</p> <p>今日は、このような機会をいただきましてありがとうございます。日々本当に市役所の職員の方々、こういう計画を定めなくてはいけないという中で、色々な思いのある中でこういう計画を一生懸命考えてくださっていることは、本当に少しだけはわかるような気はしますし、本当にありがたいなと思っております。</p> <p>ただ今、木村先生がおっしゃってたとおり、私も現場の方</p>

発言者	発言内容
<p>議長 (宮崎会長)</p>	<p>で毎日実際に子どものことであつたりとか、保護者のお母様やご家族のことを考えて、日々子どもと向き合っているのが、現状っていうものが、本当はどういうものなのかっていうところは、この紙面だけでは語れることではないっていうことですし、場をわきまえて話をしなきゃいけないなって、いつも思っているんですけど、このような計画だけで、今からこの子どもたち先々の未来が安心して暮らせるような場になっていくかっていうことは、簡単にもできるなんてことは絶対ないんじゃないかと思うと、今いる大人たちがどれだけ本気になって、子どもたちの将来を考えていかなきゃいけないかってことを本気で頑張っていかなきゃいけない、日々生きていかなきゃいけないんだなって思ってます。ありがとうございました。</p> <p>他にございますでしょうか。</p>
<p>事務局 (吉原こども家庭課長)</p>	<p>こども家庭課の吉原です。本日は委員の皆様から貴重なご意見をいただきまして、本当にありがとうございました。</p> <p>皆様からいただいた意見ですとか、調査の結果に基づきまして、新しいこども計画を策定してまいりたいと考えております。</p> <p>富津市の子育てに関わる皆様方に、より良い支援が届くような計画にしたいと思っておりますので、この後、予定ではあと3回ございますけれども、こちらの方でも皆様からのご意見をいただいて、計画を策定してまいりたいと思っておりますので、お忙しいと思っておりますけれども、どうぞご協力をいただければと思います。本日はありがとうございました。</p>

発言者	発言内容
議長 (宮崎会長)	<p data-bbox="550 264 805 302"><次第6 閉会></p> <p data-bbox="518 324 1404 481">以上をもちまして、令和6年度第2回富津市子ども・子育て会議を閉会といたします。委員の皆様におかれましては長時間、お疲れ様でございました。ありがとうございました。</p>